

**『働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～』の実現を目指して！**  
**NO. 69**  
**2023年11月1日**

# 連合西部

## ニュース

### いきいき

**連合島根西部地域協議会**  
 〒697-0022  
 島根県浜田市浅井町64-2  
 TEL: 0855-24-2055  
 FAX: 0855-24-2056  
 ○発行責任者 高平 淳一  
 ○編集責任者 土岡 勉

## 北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の返還！ 日ロ平和条約の締結を！

## 2023年平和ノサップ集会



今年のノサップ集会には連合島根から8名が参加しました。西部地協からは、青年女性委員会から「中村雅之」副委員長が参加しました。

根室市にある納沙布岬「望郷の岬公園」で開催された「2023年平和ノサップ集会」に参加し、ロシアのウクライナ侵攻後の北方領土問題に対する取り組みの現状や今後の取り組みなどについて報告を受けた後、元島民の方たちの平均年齢が87歳を超える中、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響を受け、日露両国間の関係は1956年の日ソ共同宣言に基づく国交回復以降、最悪の状況に置かれている現象を踏まえ、日本は、平和を希求する国民・国家として、国際協調主義に立ち、政府に対して、日ロ関係の改善、北方領土の一括返還実現に向けて、対ロシア外交交渉に粘り強く望むことを求め、北方領土問題や元

島民の方々の想い・願いを自らの課題として心に刻み、平和運動の輪を広げていく事を確認する。とした「2023年平和ノサップ集会アピール」を参加者全員で採択し、改めて北方領土の早期返還に向けて引き続き取り組みを進めることの認識の共有化が図られました。

また、連合島根からの参加者は、連合中国ブロックの仲間とともに、同じ領土問題として「竹島の領土権確立」について、世論喚起を図ることを目的にチラシ配布と宣伝活動を行いました。加えて、集会において、「特別報告」として、西部地協青年女性委員会の「中村雅之」副委員長が「竹島問題の歴史と現状」について報告し、竹島は「わが国固有の領土」であることを改めて訴え、「2023年平和ノサップ集会」参加者に理解と協力を求めました。



## 山本益岡市長と市政懇談会を開催

今年も西部地協は、「山本 浩章」益岡市長をお招きし、益岡市政懇談会を10月30日(月)に益岡市内で行いました。

当日は、西部地協および益岡・鹿足地区会議役員および構成単組・支部代表者など16名の参加をいただきました。

冒頭、参加者の自己紹介を行ったのち、主催者を代表して、西部地協の高平議長から懇談会の目的などについて挨拶を受けました。その後、山本市長から「益岡市の市政運営と課題」と題して講演をいただきました。

山本市長からは、昨年は益岡市政70周年を迎えるにあたって、益岡駅開業100周年を迎え、萩・石見空港も開港30周年を迎えるという、益岡市にとって節目の年となった。鉄道を取り巻く環境は、モータリゼーションの普及によって、鉄道利用が大幅に減収している状況下、鉄道利用について行政が旗を振って利用促進を図る体制が整ってきた。また、萩・石見空港についても現在東京2便が運航しているが、令和7年3月までとなり、引き続き国交省のコンテストに対して積極的な対応を図っていきたい。今の益岡市の動きの中で、益岡～三隅間が令和7年度中に開通予定となっているなど山陰道の整備も重要な取り組みとなっている。また、国道9号線益岡～津和野間において大雨災害時の通行止め対策についても現在取り組みを進めている。また、市民向けの行政サービスにおいて、DXを活用したサービスの提供を進めて行く。としたお話を聞いた。その後、参加者と意見交換を行った後懇親会においても意見交換を行い市長との懇親を深めました。



## 西部地協青年女性委員会 2023夏季レク・研修会を開催！

西部地協青年女性委員会は、夏季レク・研修会をコロナウイルス感染症が5類に移行したことから4年ぶりに1泊2日の開催とし、9月2日(土)～3日(日)の日程で浜田市の「浜田ニューキャッスルホテルおよび石見武道館」において、大田、邑智、江津、浜田、益岡の各地区と連合島根青年委員会からも参加いただき、総勢31名の若者が参集するなかで盛大に開催されました。

第1日目は、研修会を行いました。研修1では、島根県立大学国際関係学部准教授の「中村 圭」氏をお迎えし、『ジェンダーの知識を正しくアップデートして人生いっぱいトクしよう！』と題して、①現代は多様化する日本社会をみんなで支えていく時代。②ジェンダーとは社会的な性差。つまり誰かが決めたこと。③楽に生きるための鍵は気づくこと。④女性がフルタイムで働けると、生涯世帯収入は1億円以上、アップ！⑤男らしさ、女らしさから自由になると、楽でお得。など、ジェンダー平等推進に関する講義を受けました。また、研修2では、連合島根会長の「成相 善朗」氏にお越しいただき、『政治活動と選挙運動』と題して、私たちの生活は政治と深くつながっていると、政治活動の必要性、連合と政党との関係、組合の政治活動と選挙運動、そして連合が抱える課題などについて講義を受けました。夜は、浜田市内で懇親会を行い、親交を深めました。

2日目は浜田市内の「石見武道館」へ移動し、レクリエーションとして「ソフトバレー大会」を開催し、交流と親睦を深めました。



## 西部地協第10回定期総会

日時：2023年11月18日(土) 13:00～  
 場所：浜田ワシントンホテルプラザ

# 『竹島』は島根の宝！わが領土！

西部地協は、現在、韓国に不当占拠されている『竹島』の問題について、正しい認識を深めることを目的として、9月30日(土)に浜田市「いわみ」101・102研修室において、推薦議員団の皆様にも参加いただき35名の参加を得て「竹島問題と島根県の取り組み」と題して、講師には島根県から竹島問題啓発推進員の「小村 僚一氏」をお招きし、竹島問題研修会を実施した。

『竹島』は、サンフランシスコ平和条約が発効する直前の1952年1月、当時の韓国大統領「李承晩」が「海洋主権宣言」を行い、竹島を取り込む形で、いわゆる「李承晩ライン」を国際法に反して一方的に設定し、国際社会から抗議されても撤回せず、1953年から1954年にかけて、日本の巡視船への銃撃などを行い、韓国から実力行使によって、不法占拠されている。それに対して日本は、歴史的に17世紀の江戸時代から竹島は、船がかり(停泊地)、またアシカやアワビ漁の好地として利用していたこと、戦後ポツダム宣言下における米英共同草案の中で、日本が放棄する領土の中に「竹島」が入っていない。などの歴史的な観点や地図上における「竹島」の位置の問題などを掲げ、国際司法裁判所への付託を提案するなど国際法に基づく平和解決を目指す取り組みを進めている。



# 西部地協第12回「連合・愛のキャンパ」チャリティー親睦ゴルフ大会を開催！

昨年に引き続き、10月14日(土)金城カントリークラブにおいて東北震災への支援に限らず幅広くチャリティー募金を災害等支援活動として活用することや、各構成組織・各地区の組合員の交流を深め、「顔合わせ」「心あわせ」「力あわせ」から組織の充実・強化を図ることを目的として開催しました。



来賓として連合島根各役員、島根県労働者福祉協議会、こくみん共済 COOP 島根県本部、同西部支所、中国労金、連合推薦議員および東部地協、中部地協の皆様にもご参加をいただくなど構成組織・組合員皆様のご理解とご協力のもと、お陰様で85名という多くの皆さんにご参加をいただきチャリティーに相応しい大会となりました。また、珍プレイ・好プレイの続出で、和気あいあいの中で、組合員同士の交流・懇親につながる大会となりました。

大会の景品には、東北震災の復興支援として東北地方の物産品を中心とし、あわせて、チャリティー募金の85,000円は人道および災害支援で活用していただくため、連合島根から「連合・愛のキャンパ」に届けました。

因みに、第12回大会の優勝者は、島根中井工業労働組合の「中井 隆嗣」さんでした。

## ★労働時間ルールを守り、過労死等ゼロの職場に

長時間労働による疲労は心の余裕を無くし、ハラスメントを引き起こしやすくなります。そういう観点からすれば、誰でもハラスメントの加害者になりうる可能性もあると言えます。

長時間労働を削減し、心にゆとりを持てる職場環境づくりを進めつつ、ハラスメント防止対策を実施することでより快適で誰もが安心して働き続けることができる職場を実現することが大切です。



## 2023 年末預金運動実施中!

# 一時金は、 ろうきんへ。

中国労働金庫が良質な商品やサービス等を提供できるのは、みなさまからの大切な預金のおかげです。



ろうきん  
イメージモデル  
高梨 臨

